

令和7年度(2025) 出雲市水道事業会計予算の概要

1. 予算の概要

出雲市水道事業は、「出雲市水道事業ビジョン」に基づいた計画的な施設の更新や耐震化の取組を推進しています。

令和7年度予算の収益的収入では、水道料金、長期前受金戻入の減等により、前年度に対して5,680万円の減を見込んでいます。

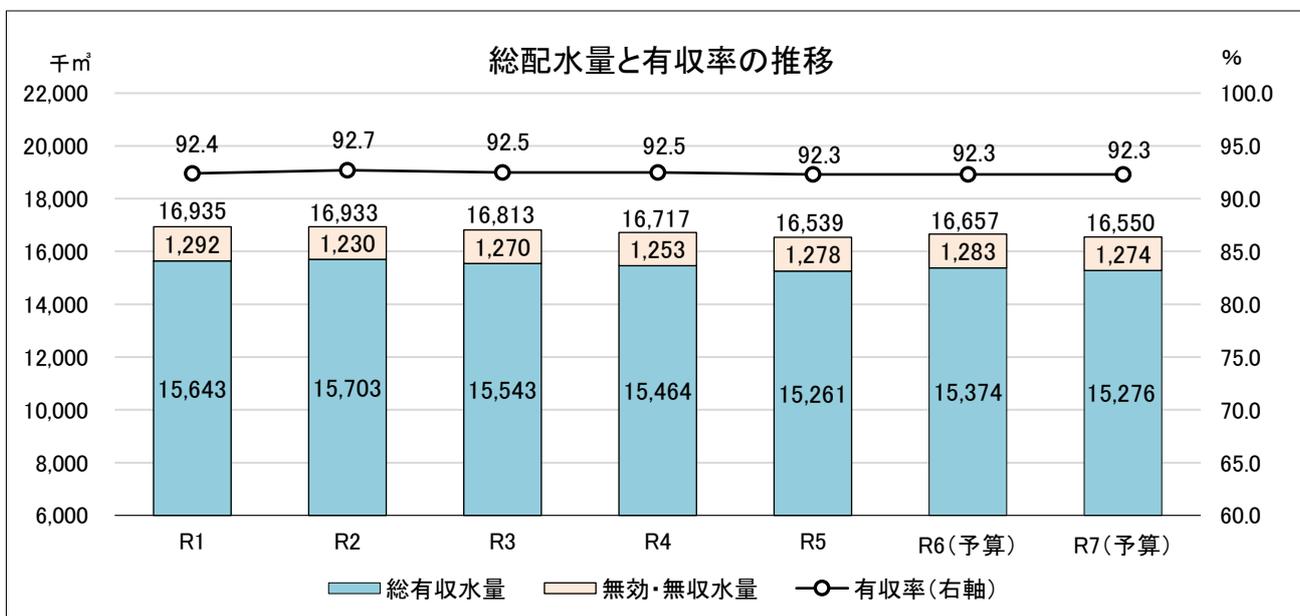
収益的支出では、動力費の減、減価償却費の減等により、前年度に対して3,040万円の減としています。

資本的収支では、管路等の更新や耐震性の向上に引き続き取り組むとともに、安定した水源確保のため、新規水源(来原系)の開発や出雲・平田地域の水運用に係る連絡施設の整備を進めます。

2. 業務量

区 分	令和7年度予算	令和6年度予算	増 減	令和5年度決算
給 水 戸 数 (戸)	58,800	57,800	1,000	58,016
給 水 人 口 (人)	139,500	140,700	△ 1,200	140,920
総 配 水 量 (千 m^3)	16,550	16,657	△ 107	16,539
総 有 収 水 量 (千 m^3)	15,276	15,374	△ 98	15,261
有 収 率 (%)	92.3	92.3	0.0	92.3

近年の実績及び動向等から、給水戸数は前年度より増加すると見込み、給水人口は前年度より減少すると見込んでいます。総配水量及び総有収水量は前年度より減少すると見込み、有収率は前年度と同程度と見込んでいます。



3. 収益的収入及び支出 (給水事業経営のための収支)

(単位:千円)

区 分	令和7年度 予算(税込)	令和7年度 予算(税抜)	令和6年度 予算(税抜)	増 減	令和5年度 決算(税抜)
水道事業収益	3,554,600	3,269,000	3,325,800	△ 56,800	3,331,395
営業収益	3,094,700	2,816,000	2,838,100	△ 22,100	2,806,275
水道料金	3,018,400	2,744,000	2,765,000	△ 21,000	2,741,754
その他営業収益	76,300	72,000	73,100	△ 1,100	64,521
営業外収益	459,700	452,800	487,500	△ 34,700	525,100
加入金	70,400	64,000	64,000	0	65,310
他会計繰入金	33,600	33,600	42,151	△ 8,551	49,969
その他営業外収益	355,700	355,200	381,349	△ 26,149	409,821
うち長期前受金戻入	348,000	348,000	369,200	△ 21,200	397,607
特別利益	200	200	200	0	20
水道事業費用	3,410,200	3,203,000	3,233,400	△ 30,400	3,073,117
営業費用	3,101,900	2,989,700	3,021,500	△ 31,800	2,874,852
職員給与費	296,240	296,000	307,160	△ 11,160	278,341
動力費	344,000	312,700	329,700	△ 17,000	253,193
委託料	490,300	445,700	426,860	18,840	393,473
減価償却費	1,470,400	1,470,400	1,493,000	△ 22,600	1,504,937
資産減耗費	90,000	90,000	90,000	0	91,711
その他営業費用	410,960	374,900	374,780	120	353,197
営業外費用	297,700	202,700	201,300	1,400	196,487
支払利息	146,700	146,700	145,300	1,400	146,108
その他営業外費用	151,000	56,000	56,000	0	50,379
特別損失	600	600	600	0	1,778
予備費	10,000	10,000	10,000	0	0
営業利益		△ 173,700	△ 183,400	9,700	△ 68,577
純利益		66,000	92,400	△ 26,400	258,278

水道料金、長期前受金戻入の減等による事業収益の減が、動力費、減価償却費の減等による事業費用の減を上回るため、令和7年度の純利益は前年度より2,640万円減の6,600万円と見込んでいます。

【収入】

- 水道料金は、小口径(13mm～25mm)及び中口径(30mm～75mm)の使用水量の減を見込み、27億4,400万円を計上
- その他営業収益は、下水道事業からの徴収委託負担金、旧簡易水道事業不用施設撤去関連負担金、設計審査手数料、原因者負担金等
- 加入金は、前年度並みを見込み6,400万円を計上
- 他会計繰入金は、統合簡易水道事業企業債償還利息及び児童手当に係る一般会計繰入金
- その他営業外収益は長期前受金戻入、預金利息等

【支出】

- 職員給与費は、上下水道事業管理者、一般職31人及び会計年度任用職員3人の人件費
- その他営業費用は、薬品費、修繕費、受水費等
- 支払利息は、企業債償還利息
- その他営業外費用は、控除対象外消費税(特定収入に係る消費税額)

4. 資本的収入及び支出 (建設改良のための収支)

(単位:千円)

区 分	令和7年度 予算(税込)	令和6年度 予算(税込)	増 減	令和5年度 決算(税込)
資本的収入	1,057,000	1,348,200	△ 291,200	1,054,481
企業債	500,000	760,000	△ 260,000	500,000
国庫支出金	9,600	44,266	△ 34,666	550
工事負担金	256,400	188,665	67,735	142,290
他会計負担金	11,000	10,866	134	7,391
他会計繰入金	280,000	344,403	△ 64,403	404,250
資本的支出	2,723,200	3,012,900	△ 289,700	3,106,876
建設改良費	1,888,700	2,148,700	△ 260,000	2,231,714
企業債償還金	833,500	863,200	△ 29,700	875,162
予備費	1,000	1,000	0	0
収支不足額	1,666,200	1,664,700	1,500	2,052,395

【収入】

- 企業債は、管路更新に係る事業を対象に5億円借入
- 国庫支出金は、旧簡易水道施設に係る設備更新の一部を対象とする生活基盤近代化事業の補助金(1/4)
- 工事負担金は、支障移転工事に係る移設負担金
- 他会計負担金は、消火栓の設置替工事に係る負担金
- 他会計繰入金は、統合簡易水道事業元金償還金及び児童手当等に係る一般会計繰入金

【支出】

- 建設改良費は、来原系水源開発整備事業、出雲・平田地域連絡施設整備事業、基幹管路耐震化事業等
- 企業債償還金は、企業債の元金償還金

【主要建設事業一覧】

(単位:千円、税込)

事業名	事業費	事業概要
来原系水源開発整備事業	82,670	取水井詳細設計業務 及び 周辺環境調査業務 水源地造成工事(排水路付替工、進入路整備工)
出雲・平田地域連絡施設整備事業	194,649	平田町愛宕山配水池場内 送・配水管布設替工事 φ200 L=115.7m 平田町愛宕山配水池電気計装設備工事 園町本郷配水池外電気計装設備・機械設備工事
基幹管路耐震化事業	282,904	平田町城の前橋付近配水本管布設工事 配水本管 φ500 L=149.1m 平田町愛宕山配水池場内 送・配水管布設替工事 配水本管 φ500 L=70.8m 送水管 φ400 L=45.1m
灘分第3水源施設更新事業	12,000	取水施設更新工事(取水施設周辺整備工)

(単位:千円、税込)

事業名	事業費	事業概要
管路更新事業	775,459	支障移転関連設計業務 3件 管路更新工事 15件 支障移転関連工事 25件
設備・計装更新事業	266,966	来原浄水場中央監視装置更新工事 多伎浄水場(膜処理棟)膜モジュール更新工事 灘分浄水場アルカリ剤注入機更新工事 旧簡易水道施設設備更新工事(基幹改良)

5. 補てん財源(留保資金)

(単位:千円)

財源内訳	令和6年度末見込額	令和7年度中増加額	令和7年度中減少額	補てん額	令和7年度末見込額
減債積立金	364	0	0	0	364
建設改良積立金	960,785	92,400	0	291,918	761,267
損益勘定留保資金	0	1,268,400	0	1,268,400	0
消費税資本的収支調整額	0	105,882	0	105,882	0
当年度純利益	92,400	66,000	92,400	0	66,000
合計	1,053,549	1,532,682	92,400	1,666,200	827,631
貸倒引当金 賞与引当金(3条)	50,520				54,634
留保資金残高	1,003,029				772,997

令和6年度末の留保資金残高は、前年度からの繰越事業を含む建設事業の財源不足への補てんを行った結果、10億303万円になると見込んでいます。

令和7年度も引き続き、建設事業に内部留保資金を活用し、令和7年度末には7億7,300万円になると見込んでいます。

